

## は し が き

「英語初級・中級学習者の英文法力を、短期間でランクアップさせることはできないであろうか？」この一見不可能と思える要望に応えようとしたのが本書です。従来の方法で英文法をやり直すと、学習項目が多すぎて半期や一年ではなかなかカバーできません。また無味乾燥な授業になりやすいのも事実です。しかし英語をしっかり読み・書き・聴き・話すためには、英文法は不可欠であることは議論の余地がないと思います。本書は英文法の全てを網羅するのではなく、日本人が総じて不得意とする部分を、様々な練習問題を通して集中的に強化することにより、短期間に英語総合能力を少しでも高めることを目的としています。

本書を編む前に、私たち著者一同は英語の *slow starter* といわれる学習者をも視野に入れてブレインストーミングをし、英語上達の最短距離を歩ませるテキストを作る方法およびその項目を熟考いたしました。その結果決定した本書の切り口はかなりユニークで、外国語として学習している日本人の英語に頻繁に見られる誤り（コモンエラーズ）の項目を軸に展開しています。前述の通り、これらの項目は網羅的ではありませんが、TOEIC® テストや他の英語資格検定試験等で問われる可能性が比較的高い文法語彙項目を選択し、半期で弱点強化を図れるように配慮いたしました。つまり、本書は英語を学習してもなかなか習得できていなかった箇所を集中治療し、英語総合能力を向上させようとするものです。各章の構成は次のようになっており、ピンポイント的にその文法事項に関する知識を強化します。

**ここがポイント!** 各章の文法ポイントを簡潔に説明し、マスターするための秘訣に触れています。

**Step 1** 文法ポイントを表す典型的な例文を提示し、全体像を把握する導入部分です。

**Step 2** その章の文法事項に関わるものが選択肢として与えられていますので、それを適切な形にして、穴埋めしてポイントを理解していきます。

**Step 3** 文法事項が入った整序形式の英作文の練習問題です。

**Step 4** 文法事項が散りばめられた平易なエッセイを読み、穴埋めして和訳する練習問題です。

**Step 5** 平易なダイアログ形式の会話文の一部が日本語になっており、文法事項を意識しながら英作する練習問題ですが、音声 CD を聞いてリスニングの問題にすることも可能です。

**Let's Wrap It Up!** 正誤問題（error recognition）タイプの問題で各章の文法事項をまとめます。

**Dr. Venus's Q & A** 英語学習者のコモンエラーズは文法的なものばかりではありません。この肩のこらないミニエッセイは、日本人がおかしがちな文化的および言語的なミス

を取り上げ、学習者の皆さんの注意を喚起することを目的としています。

6章終了ごとに **Review Unit** として、正誤問題＋総合問題が用意されています。そこまでの復習をして、文法事項を確実に定着させてください。また、**Special Unit** として日英語の慣用句を扱った章が巻末にありますので、直訳が危険であることを体感してください。

更に本書のユニークな試みとして、音声 **CD** をイギリス英語、アメリカ英語、カナダ英語そしてオーストラリア英語で吹き込みました。これは2006年5月からの **TOEIC®** テストのリニューアルを意識し、それに対応したものです。この **CD** を活用して、英語の発音の代表的なバラエティを楽しみながら耳も鍛えていただきたいと思います。

最後になりましたが、本書を編む際に、金星堂の福岡正人氏と嶋田和成氏にはお世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

2005年 夏  
編著者 倉田 誠

# CONTENTS

<b>UNIT 1</b>	実はこんなに簡単な冠詞	6
<b>UNIT 2</b>	形がないから不可算名詞	10
<b>UNIT 3</b>	程度の大小を表す比較の表現	14
<b>UNIT 4</b>	使用頻度の高い前置詞	18
<b>UNIT 5</b>	現在志向の動名詞	22
<b>UNIT 6</b>	未来志向の to 不定詞	26
<b>Review Unit 1</b>		30
<b>UNIT 7</b>	間違えやすい分詞形容詞	32
<b>UNIT 8</b>	混同しやすい名詞	36
<b>UNIT 9</b>	単複や倒置にもかかわる接続表現	40
<b>UNIT 10</b>	少し整理が必要な動詞	44
<b>UNIT 11</b>	前置詞が必要な動詞と不要な動詞	48
<b>UNIT 12</b>	使い分けたい助動詞表現	52
<b>Review Unit 2</b>		56
<b>SPECIAL UNIT</b>	直訳すると危ない日英語の慣用句対照	58

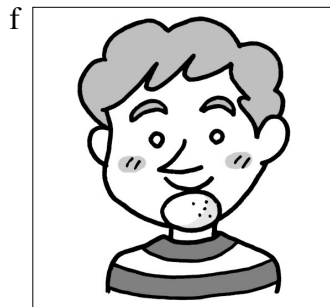
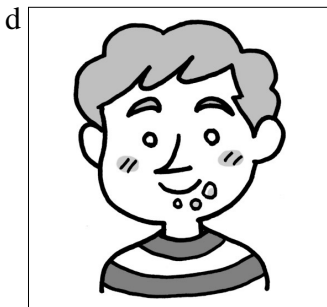
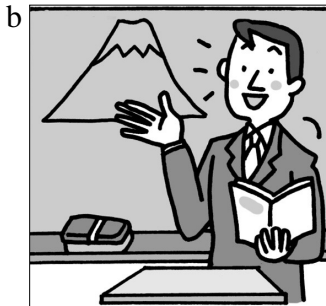
**ここがポイント!**

1. a/an には、その親戚関係の one と any の両方の意味がある。
2. the も that と意味的に親戚関係である。
3. a/an や the が省略されると、名詞の形が明確でなくなり、その名詞の一部や機能の意味が優先される。

a/an (後の名詞が子音か母音かで使い分け) には、one が持つ「一つの」という可算性の意味と any が持つ「どれでも／いずれかの」という意味が共存しています。一方、the は that と同じく一方向指示の意味を持っているので、直後の名詞 (句) を唯一のものであるという意味にしてしまいます。数えられる名詞の前の a/an または the がいない場合は、その名詞の「一部分」や「機能」という意味合いが出ます。例えば、鶏肉を食べた時は一部分の肉を表す I ate chicken. という形式が普通であり、I ate a chicken. とすると鶏を丸ごと一羽を食べたことになります。また I go to school / church. と無冠詞にすると、機能が強調され、「勉強／礼拝に行く」という意味になります。

▶ **Step 1** 次の各英文の意味と合うイラストを a ~ f から選び、文末の ( ) に入れない。

- (1) The chef cracked an egg into the frying pan to make a small omelet. ( )
- (2) Look at Jack! He has egg on his chin. ( )
- (3) Don't tell me a lie! Tell me the truth. ( )
- (4) Mt. Fuji is the highest mountain in Japan. ( )



▶ **Step 2** 次の ( ) に適切な冠詞 (a, an, the) を入れ、日本語に相当する英文を完成させなさい。ただし、冠詞が不要な場合は×を入れなさい。

- (1) Tokyo is ( ) capital of Japan.  
東京は日本の首都です。
- (2) Meg and I were born on ( ) same day.  
メグと私は、同じ日に生まれました。
- (3) John is ( ) good friend of mine.  
ジョンは私の仲の良いお友達です。
- (4) You must be hungry now. You only ate ( ) apple for lunch.  
お腹が減ったでしょう。お昼ごはんにりんご一個を食べただけだから。
- (5) My brother bought a used van a week ago. ( ) engine is in good condition.  
兄さんが、一週間前に中古のバンを買いました。エンジンが快調です。
- (6) My wife and I always eat ( ) turkey for dinner at Thanksgiving and Christmas.  
私たち夫婦はいつも、感謝祭とクリスマスのディナーに七面鳥を食べます。

▶ **Step 3** ( ) 内に与えられた語句を適切に並べ替えて、日本語に合う英文を完成させなさい。ただし、一つ不要な語句があります。

- (1) 彼は日本の大学卒業後、経営学修士 (MBA) を取るために UCLA に行きたがっています。  
My boyfriend \_\_\_\_\_ college in Japan.  
(to get / go to / a MBA / wants to / UCLA / after graduating from / an MBA)
- (2) 亜紀は6人兄弟の一人娘で、両親にとっても可愛がられます。  
Aki is \_\_\_\_\_ by her parents.  
(an only / and she is / of six children / daughter / loved and adored / the only)
- (3) これらが昨日、君がスーパーで買ったオレンジかい？  
Are these \_\_\_\_\_ yesterday?  
(you bought / oranges / at the supermarket / the oranges)
- (4) 妻は昨晚、気分が悪かったので、スイカしか食べられませんでした。  
My wife was \_\_\_\_\_ last night.  
(only eat / that / a watermelon / so sick / she could / watermelon)

▶ **Step 4** CDを聴き、次のエッセイの空所を埋めなさい。その後、下線部を和訳しなさい。 **CD 2**

Dave loves the guitar. He has been studying classical guitar on his own for six months. <sup>(1)</sup>His parents bought him ( ) guitar for his birthday. That present changed his life! He had been taking piano lessons since he was about five or six years old. In high school he got so busy preparing for university entrance exams that he had stopped going to his piano lessons and then gradually, he stopped practicing. <sup>(2)</sup>Even after he got into ( ) university near his home, he didn't start playing again. Somehow he just seemed to lose interest in the piano. But playing an instrument had been a big part of his life and the moment he opened the present and saw that beautiful guitar, he knew he was going to be a guitarist. <sup>(3)</sup>( ) old friend from primary school who goes to a music college plays the guitar in the local orchestra. He and Dave play together about once a week and Dave is making rapid progress. <sup>(4)</sup>It seems that ( ) years of piano lessons have paid off. Dave is becoming an unusually talented guitarist.

- (1) \_\_\_\_\_  
(2) \_\_\_\_\_  
(3) \_\_\_\_\_  
(4) \_\_\_\_\_

▶ **Step 5** 次の会話の下線部の日本語をこの章の文法項目を意識して英訳しなさい。その後、CDを聴き、ロールプレイをしなさい。 **CD 3**

*Harry:* The new rule about writing a full report on the day's work is too tough.

*Sally:* I know! It <sup>(1)</sup> ほぼ一時間かかるわ to write the report. An extra hour a day!

*Harry:* <sup>(2)</sup> 本当に馬鹿げた考えだよ!

*Sally:* The manager thinks writing the reports is worth the effort.

*Harry:* We both need a break! How about going to the city for a weekend next month?

*Sally:* We could <sup>(3)</sup> 野球の試合観戦に行く. The Yankees are having a great season.

- (1) \_\_\_\_\_  
(2) \_\_\_\_\_  
(3) \_\_\_\_\_

